



総選挙 「脱原発」議員増 再稼働へ白紙委任したわけではない

12月の総選挙で自民党は議席を減らしましたが、自公与党で2/3の議席を維持しました。「自公大勝」と言われていますが、自民の議席は小選挙区制(48%の得票で76%の議席占有)による虚構の多数にすぎません。52%という低投票率のもとで、比例区での自民党の得票率は、全有権者のわずか17%。一方、原発ゼロをかかげる日本共産党が躍進するなど、再稼働慎重・反対派の政党の議席は119議席から139議席に増加しました。

安倍首相は総選挙で信任を得たとして、原発推進の動きを加速させていますが、各種世論調査でも過半数が再稼働に反対しています。民意を無視した「再稼働」は許されません。

原発ゼロへ 国民の声は再稼働反対

はるかに危険なMOX燃料 大間原発なんていらぬ

電源開発（Jパワー）は12月16日、建設中の大間原発（青森県大間町）について、稼働開始の前提となる新規規制基準への適合性審査を原子力規制委員会に申請しました。建設中の原発の申請は初めてです。

大間原発は、使用済み核燃料から取り出したプルトニウムとウランを混ぜて作るMOX（モックス）燃料を全炉心で使う世界初の「フルMOX」原発。MOX燃料はウラン燃料より、核分裂反応を抑える制御棒の効き方が悪くなるなどの危険性が指摘されているばかりか、燃やしたMOX燃料の行き場もありません。

津軽海峡をはさんだ函館市は14年4月、国と電源開発を相手取って建設差し止めを求め訴訟を東京地裁に起こしています。こんな危険な原発建設はゴメンです。

高浜原発「再稼働ありき」の 「審査書案」了承は許されない

原子力規制委員会は12月17日、関西電力高浜原発3、4号機（福井県高浜町）の再稼働の前提となる原発の新しい規制基準に「適合」したとする「審査書案」を了承し、30日間の意見募集を行うことを決めました。「審査書案」が示されたのは7月の九州電力川内原発1、2号機に次いで2件目。規制委員会が出した「審査書案」は、再稼働という結論先にありきで、事故対策、地震や活断層、避難計画などともな検討もなく出されたものです。「福井地裁の大飯原発差し止め判決をまったく無視するのか」と、地元などから怒りの声が上がっており、各地で抗議行動が起きています。さらに運動を広げましょう。

ZENROREN 全労連 全国労働組合総連合

〒113-8462 東京都文京区湯島2-4-4 TEL (03) 5842-5611 FAX (03) 5842-5620
http://www.zenroren.gr.jp

2015.1

原発即時ゼロ
を求める

福島100万人署名に
ご協力ください。

